

第28回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

シミュレーテッド・エマージェンシー・レスポンス競技（SERC）状況設定

1. SERC とは

1 チーム4名の競技者が、指定された制限時間内でいかに適切な救助ができるかを競う採点競技です。採点は、それぞれの溺者・傷病者の救助をみる採点員と全体の状況を見る主任採点員によって行われます。

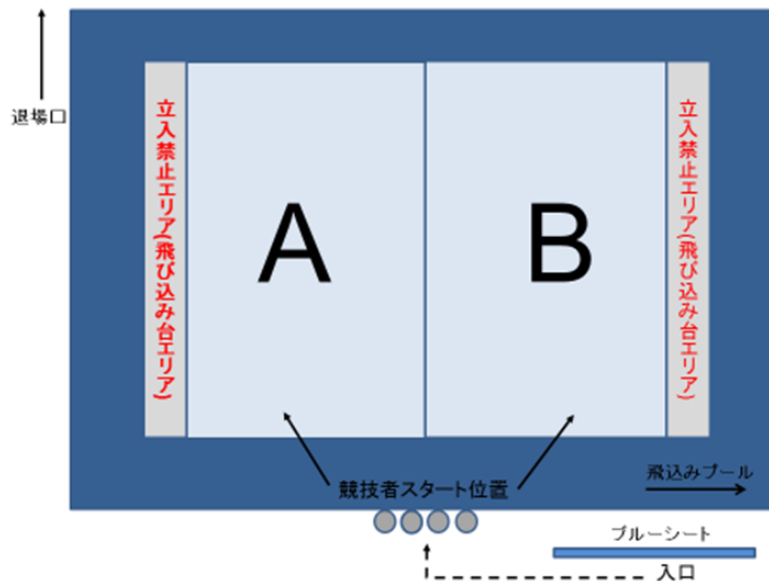
<注意>

観覧席からなんらかのサインを出した場合、あなたのチームが失格になりますのでご注意ください。

2. 状況設定

競技者は、競技開始前に以下の 分のみ知らされています。

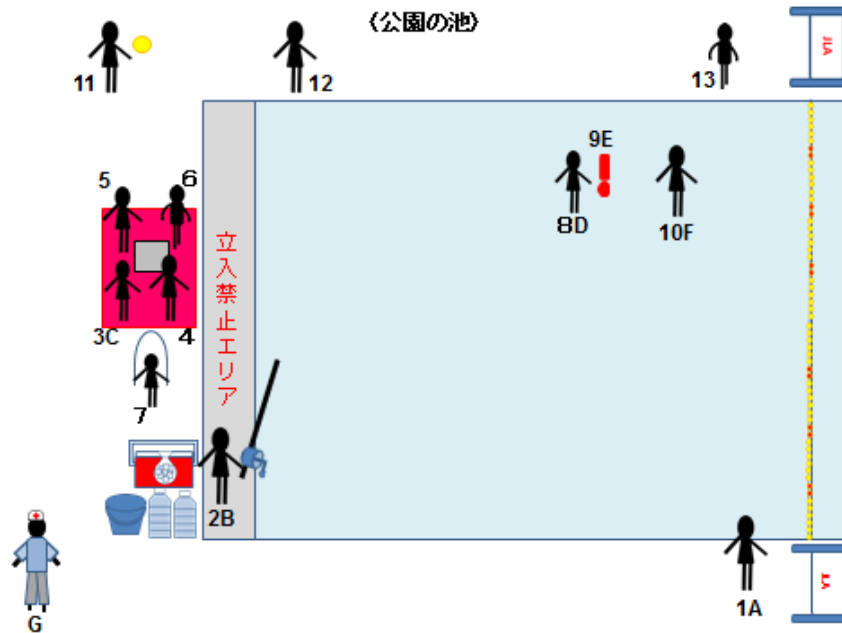
皆さんは休日にライフセーバー仲間4人で神奈川県にある自然公園に遊びに来ました。公園の中で何か事故が発生している模様です、90秒以内で対処してください。



現場には救助機材になりうる、身近にある次の物品があります。

- ① ペットボトル 2本、バケツ 1個
- ② フェイスシールド 1個 ※一般客が首から下げています
- ③ ビーチタオル 1枚 ※一般客が首に巻いています
- ④ クーラーBOX(氷袋入り) 1個
- ⑤ 縄跳び 1本
- ⑥ ボール 1個
- ⑦ 釣竿 1本

また、額に「X」の印がついている場合は、意識なし、呼吸なし、頸椎（髄）損傷なしの状態とします。また、スタートの時点で競技者は何も持っていない状況です。



<詳細>

役者	設定	状況詳細
1	一般客	認知症：帽子をかぶり、きょろきょろと誰かを探し歩いている。
2	一般客	釣り人：よっぱらいながら、ふらふらした状態で釣りをしている。
3	一般客	火傷：4,5,6,7 と BBQ 仲間。BBQ をしている最中に火傷をして痛がっている。
4,5,6	一般客	BBQ：3,7 と BBQ 仲間。
7	一般客	縄跳び：3,4,5,6 と一緒に BBQ をしながら、縄跳びをしている。
8	親子(親)	軽溺：溺れた9の子供を抱えながら名前を呼び続けている。
9	親子(子供マネキン)	重溺：意識なし、呼吸なし
10	一般客	軽溺：8,9の親子を助けるため池に飛び込み溺れてしまう。
11,12	一般客	ボール遊び：11 は首にフェイスシールドを付けている。
13	一般客	認知症の家族：1の家族、1を探し歩いている。
G	救急隊	救急隊：採点員が演じています。

※図は、A エリアの例です。B エリアは、これと対称的なレイアウトとなります。

<採点>

SERC の採点は、それぞれの溺者・傷病者に対する処置とともに優先順位が評価されます。

溺者・傷病者に対する救助の優先順位：

- ① 泳力の弱い人、自力で移動できる人
- ② 危険の迫った人（泳げない人、ケガをした泳者）
- ③ 継続的なケアが必要な人（意識がない人、呼吸がない人、頸椎の損傷が疑わしい人）

※SERC に関する詳細は下記ご参照ください。

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会 HP <http://www.jla.gr.jp/>

「ライフセービング競技規則 2014 年版」第 5 章 シミュレーテッド・エマージェンシー・レスポンス競技(SERC) P119～